

施工業者様用

〈施工説明書〉

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

機能引き戸 ・ 自閉式幅広片引き戸 ・ 自閉式幅広引き込み戸

上吊りタイプ

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。



必ずおこなう

・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

施工終了後

養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

開梱

梱包を開いたら引き戸本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

■ 梱包内訳表

部材名	数量
引き手	1枚

引き手(別売品)

部材名	数量
引き手	1セット



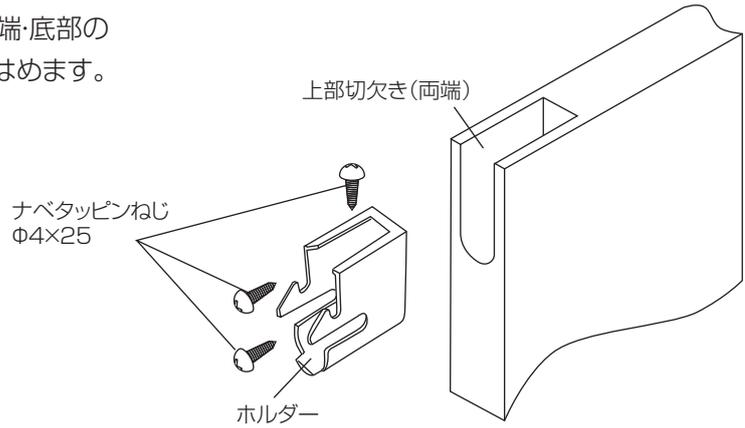
自閉式引き戸金具セット(別売品)

部材名		セット品番	自閉式 レールセット (一式)	上レール 取り付け ビス 	ゼンマイ 装置 	ゼンマイ ホルダー 	ゼンマイ ホルダー 取付ネジ 	ホルダー (吊カップ) 	ホルダー 固定ネジ 	振れ止め 金具 (床付用) 
入 数	片引き戸	ZYJW●	1セット	8本	1個	1枚	2本	2個	6本	1個
	引き込み戸	ZYJP●	1セット	8本	1個	1枚	2本	2個	6本	1個
備考 (部材品番等)			—	—	—	—	—	—	—	ZY3334

扉吊込み前の準備

■ホルダーの取付け

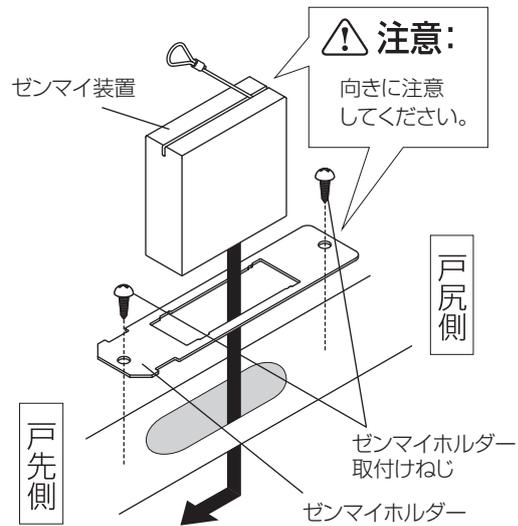
扉本体を納まり図の扉加工寸法に従い、上部両端・底部の溝を加工し、ホルダーを扉の上部両端切欠きにはめます。ホルダーをはめ込み後ナベタツピンねじΦ4×25(3本ずつ)でねじ止めします。



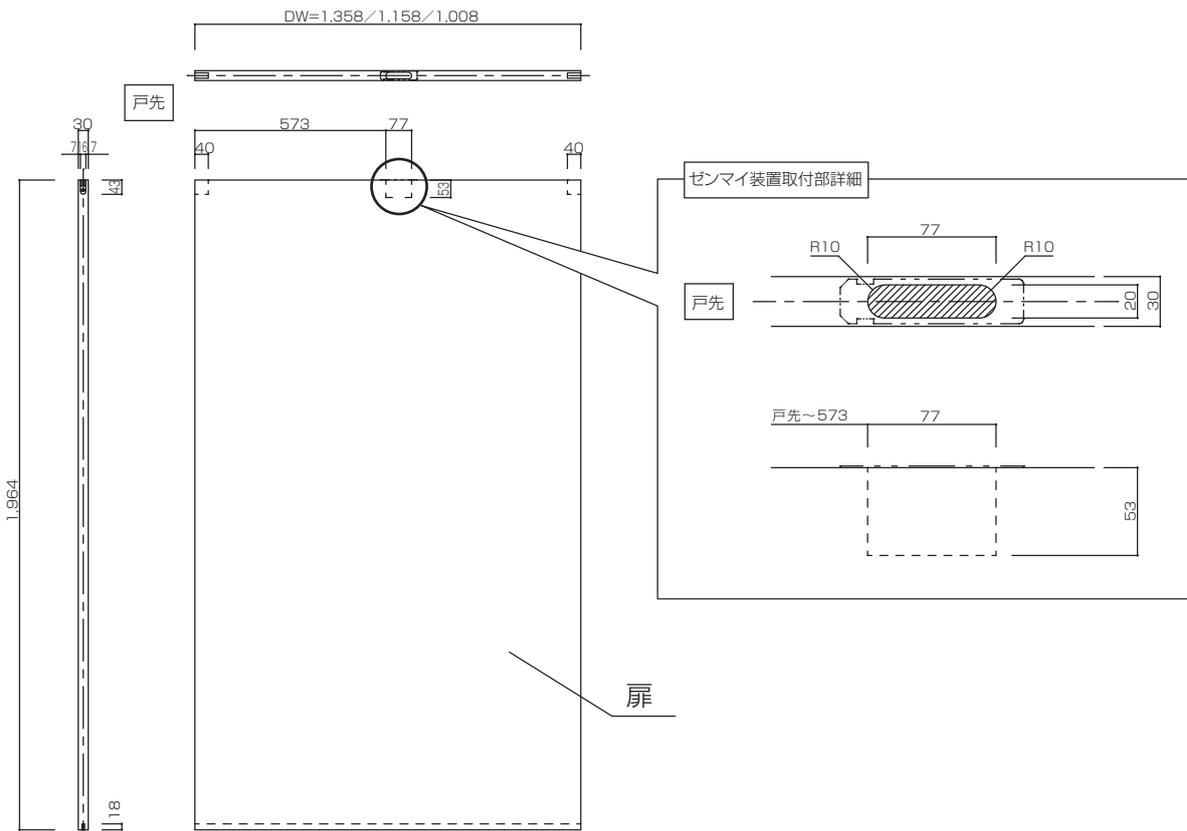
■ゼンマイ装置の取付け

ゼンマイホルダーをゼンマイホルダー取付けねじを使って取付けます。

ゼンマイ装置を挿入し、戸先側へずらしてゼンマイホルダーへはめます。

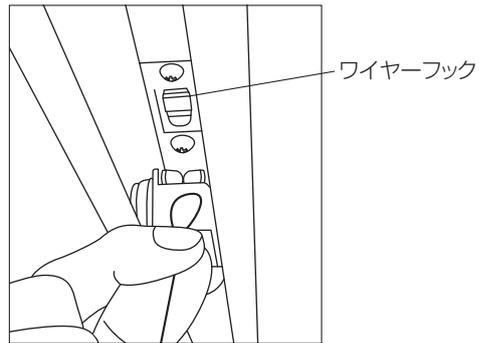


【ゼンマイ装置取付位置】



引き戸の吊込み

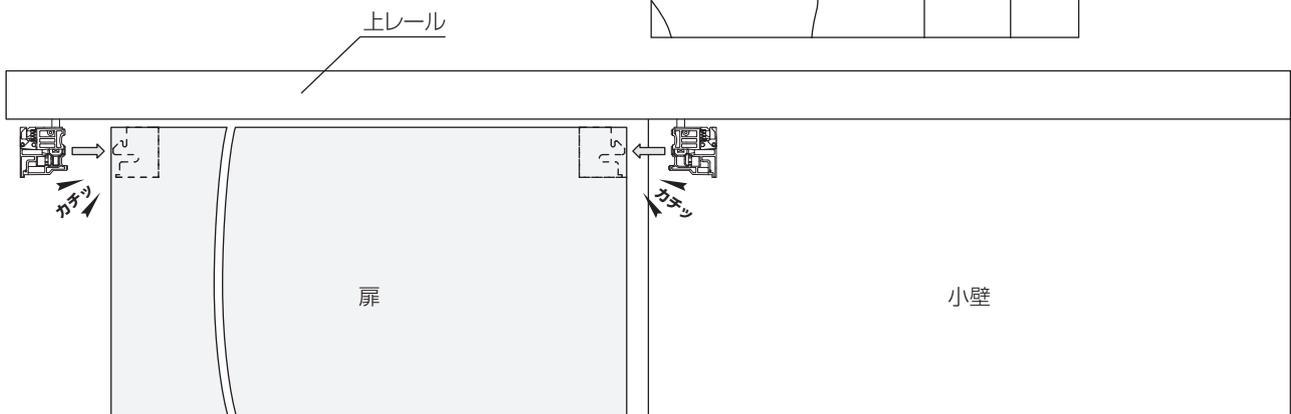
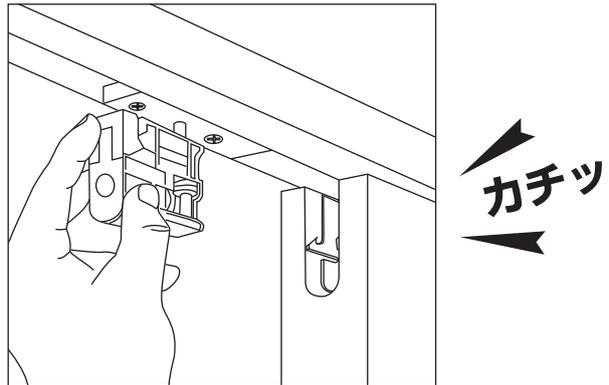
戸を開口部に寄せて、ゼンマイ装置のワイヤー先端をワイヤーフックに引っ掛けます。



床に取り付けた振れ止め金具に引き戸をひっかけ、戸尻側の吊車をスライドさせ、固定カップにカチッと音がするまで差し込んで取り付けてください。

戸尻側の吊車を取り付けたら、ゆっくり扉をレールと平行になるようにスライドさせていきます。

扉がレールと平行になったら、戸先側の吊車を先程と同様に固定カップにカチッと音がするまで差し込んで取り付けてください。



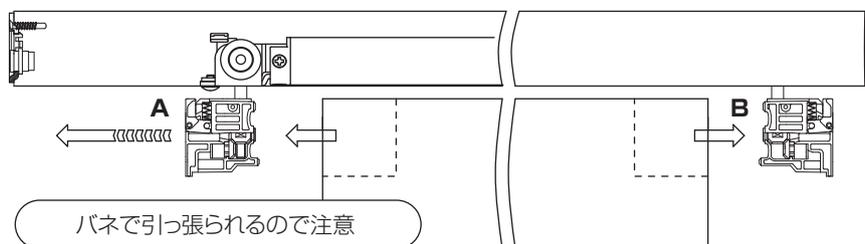
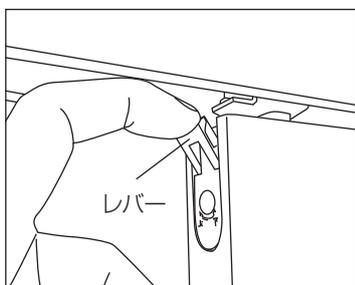
⚠ 扉の取り外しに注意

扉を外す場合は以下の手順で行ってください。

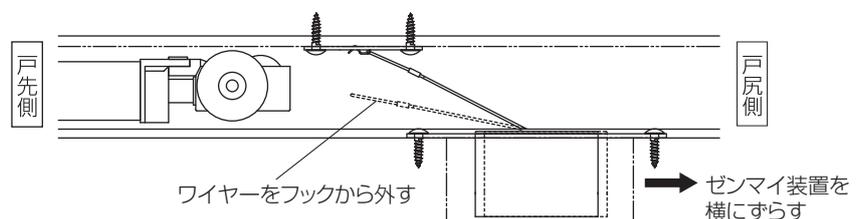
1. 戸先ランナーA・戸先ランナーBのレバーを起こします。

2. そのままレバーをつまみ、手を離さず戸先ランナーA・戸先ランナーBを引き出します。

※ 戸先ランナーAを取り出す場合は、引き出した瞬間に戸先ランナーがバネで引っ張られますので、縦枠まで手を添えておいてください。
(急に離すと戸先ランナーAが急激に移動し、破損の原因となりますのでご注意ください)



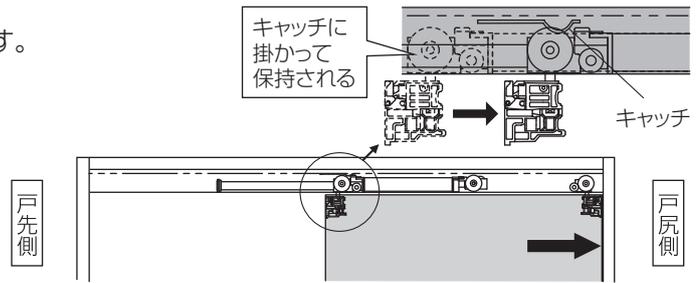
3. ワイヤーをフックから外します。
ゼンマイ装置はホルダー内で戸尻方向へ横にずらすと外せます。



動作確認

■戸を全開にする

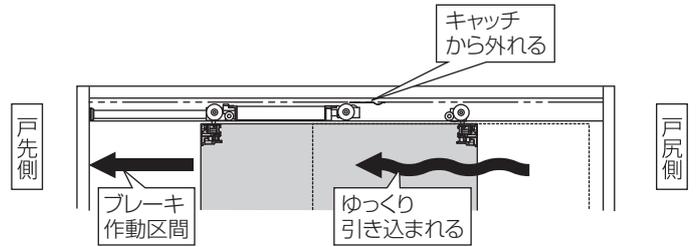
戸を全開し、キャッチに掛かって静止するか確認します。



■戸を閉じる

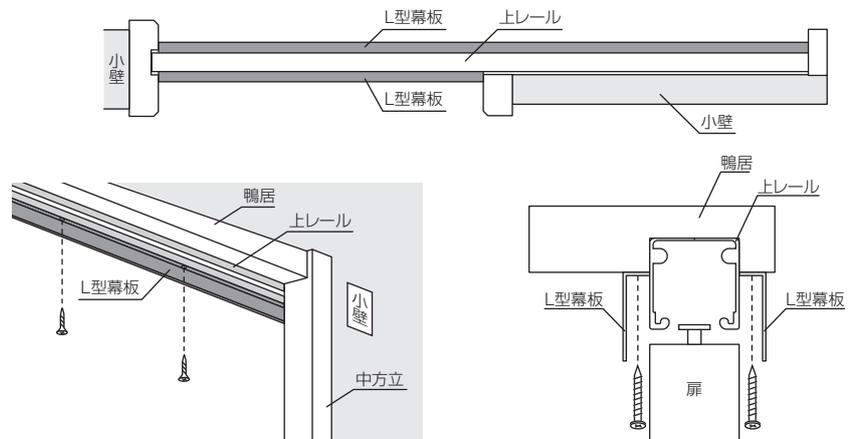
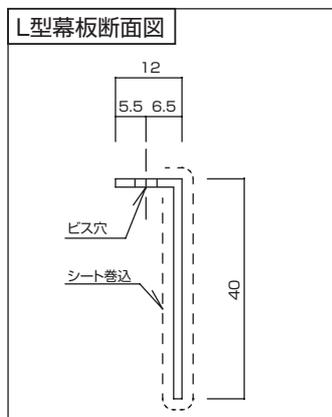
全開状態から戸を引き、キャッチを解除したら手を離します。

戸が自動で引き込まれ、ブレーキが掛かってから閉まりきることを確認します。



L型幕板の取り付け

引き戸を吊り込んだ後にL型幕板を上レールに合わせて取り付けてください。



ビスの取り付け位置にご確認ください。

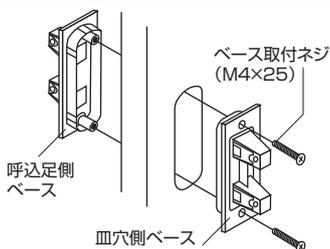
引き手の取り付け

1 ベースの取り付け

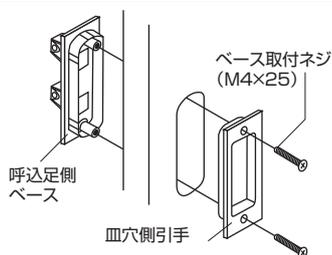
呼込足側ベースと皿穴側ベースをベース取付ネジでしっかり固定してください。

片側バー引き手仕様の場合は、片側は引き手になります。

両側バー引き手仕様の場合



片側バー引き手仕様の場合



注意

※電動ドライバーは使用しないでください。

各取付ネジは、製品が変形・破損しないよう注意し、しっかり締め付けてください。

※引戸錠をご利用の場合は、先に引戸錠セットを取り付けてください。

先にバー引き手を取り付けると、引戸錠の座本体を取り付ける事ができません。

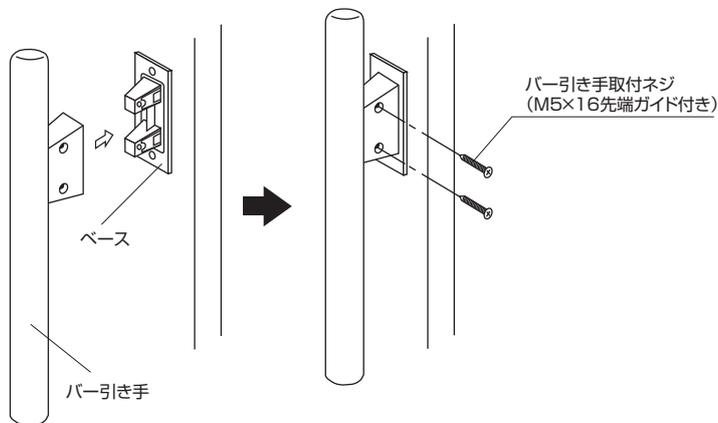


2 バー引き手の取り付け

バー引き手をベースにかぶせ、バー引き手取付ネジでしっかり固定してください。

取り付け後、バー引き手にガタツキが無いか確認してください。

バー引き手からバー引き手への交換は右記の逆順で取り付けてください。



オプション

錠の取り付け (表示錠・間仕切り錠・鍵付き錠の場合のみ)

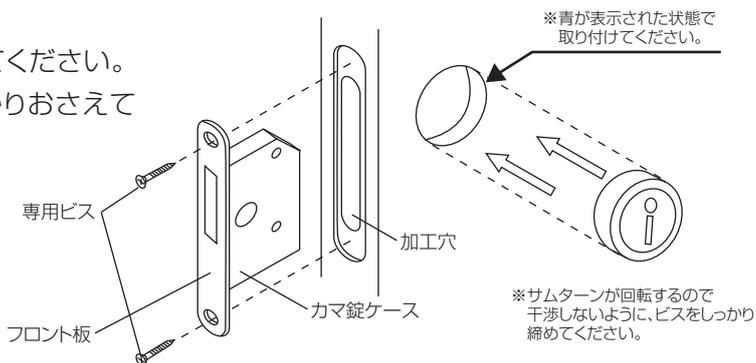
① カマ錠の取り付けをします。

フロント板は、加工穴にズレないように入れてください。ビスをしめつける際には、フロント板をしっかりおさえて行ってください。

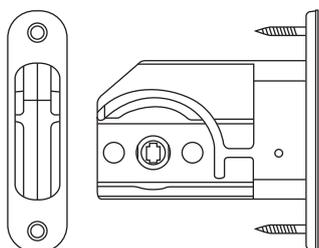
※カマ錠の取り付け時は、必ずカマがケース内に入った状態で取り付けてください。

お願い

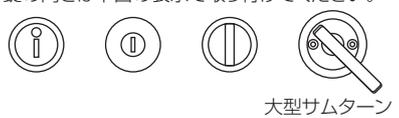
ビス打ち込みの際は、割れ防止のため、下穴を空けてください。



② 錠を錠加工穴にとりつけます。



錠の向きは下図の表示で取り付けてください。

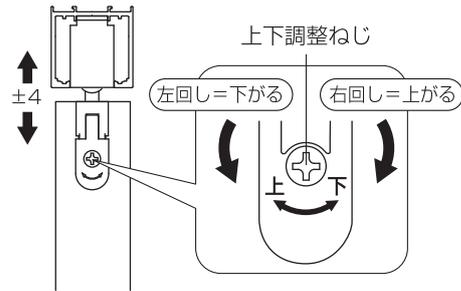


ビスの取り付けの留意点

ビスは同梱のビスを使用して取り付けてください。ビスで金具の固定を行う際は過大なトルクを発生させる工具は極力使用しないでください。強いトルクを発生させるインパクトドライバーを用いると、締め過ぎによるビスの空転や部材に割れが生じ、適切な固定できず、商品に悪影響を及ぼす原因となります。

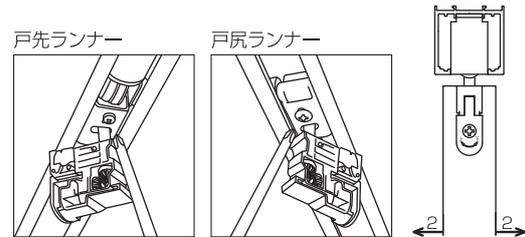
■扉の上下調整

上下それぞれ4mmの調整が可能です。
戸先ランナー・戸尻ランナーの“上下調整ねじ”を回して調整します。



■戸の前後(奥行き)調整

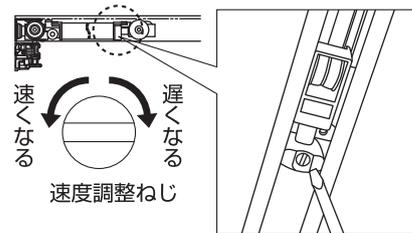
前後それぞれ2mmの調整が可能です。
1. 戸先・戸尻のランナーを戸から引き出して、
各ランナーの下面にある“前後調整ねじ”を緩めます。
2. 戸の前後位置を調整します。
3. 調整が終わったら“前後調整ねじ”を締め込みます。



■ブレーキ力の調整

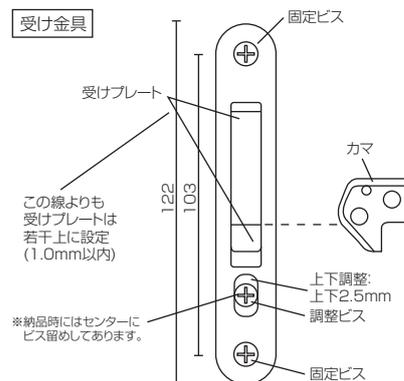
ブレーキ作動区間で戸が閉まる速さを調整できます。
戸先ランナーユニットを戸から引き出して、
ブレーキシリンダーについている“速度調整ねじ”を回して調整します。

- ※・左回し:速くなる(ブレーキ力が弱まる)
- ・右回し:遅くなる(ブレーキ力が強まる)



■カマ錠受け金具(枠側)の上下調整

1. 受けプレートの調整ビスを受けプレートが動く程度にゆるめます。
2. カマ錠のカマを出した状態にし、左図のような位置関係になるように調整します。
3. 調整が終わりましたら調整ビスを締めて確実に固定してください。



お願い

引き戸の上下調整の両方またはどちらかの調整を行った場合は必ず受け金具の調整も行ってください。調整をしないと引き戸が閉まらなくなったり、金具を破損するおそれがあります。

WOODONE